

繰出金

特別会計等へ繰り出される経費で約11億6千万円。歳出に占める割合は12・6％で前年度より約1億円増加しました。

公債費

町が借り入れた起債の返済金で約9億8千万円。歳出に占める割合は10・8％で前年度より約2千万円増加しました。

扶助費

障害者・高齢者・児童などのために使われる福祉的経費で約9億4千万円。歳出に占める割合は10・3％で前年度より約2千万円増加しました。

維持補修費

公共施設の補修費で、約7千万円。歳出に占める割合は0・7％で前年度より約3・4％増加しました。

その他

このほか、性質別経費には基金への積立金と貸付金があります。以上が平成18年度一般会計決算の概要です。今後も安心と活力のあるまちづくりを目指して、健全で効率的な財政運営に努めていきます。

公開します！

バランスシート

町では、町の財政状況をより詳しく町民の皆さんに知っていただくため、平成18年度末までの町の資産や負債を明らかにしたバランスシートを作成しましたので、公開します。

バランスシートとは？

貸借対照表と呼ばれる財政状況を示す表のことで、一定の時期において、その団体が保有する全ての資産、負債等の状況を総合的に表示することができます。

作成にあたって

今回作成したバランスシートは、昨年度に引き続き、一般企業のバランスシートとは異なり、全国の市町村が共通の資料で作成できる総務省の要領に基づき、昭和44年度から平成18年度までの間の資産などを集計し、平成19年3月31日を基準日として作成しました。

バ ラ ン ス シ ー ト

(平成19年3月31日現在)

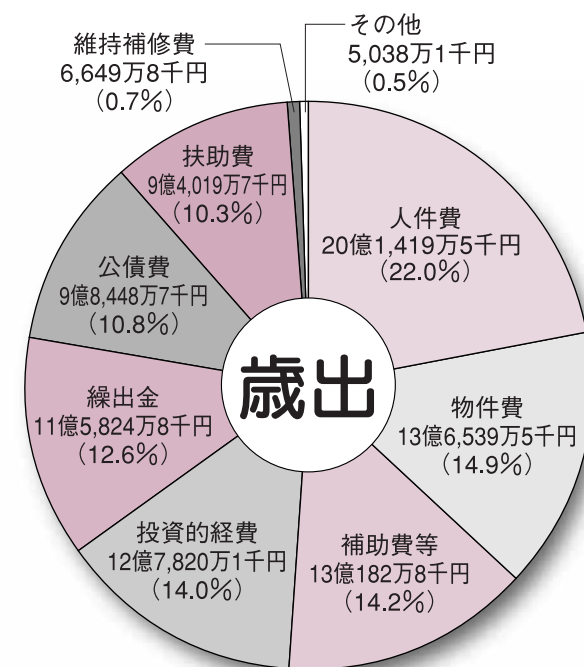
(単位：千円)

借 方		貸 方	
[資産の部]		[負債の部]	
1.有形固定資産		1.固定負債	
(1)総務費	4,303,913	(1)地方債	9,565,448
(2)民生費	1,184,474	(2)債務負担行為	
(3)衛生費	2,802,514	①物件の購入等	
(4)労働費		②債務保証または損失補償	
(5)農林水産業費	3,276,465	債務負担行為計	
(6)商工費	461,689	(3)退職給与引当金	22,218,254
(7)土木費	16,587,838	固定負債合計	31,783,702
(8)消防費	80,617		
(9)教育費	15,216,768		
(10)その他	1,175,848		
計	45,090,126		
(うち土地)	19,229,824		
有形固定資産合計	45,090,126		
2.投資等		2.流動負債	
(1)投資及び出資金	622,870	(1)翌年度償還予定額	777,948
(2)貸付金	78,507	(2)翌年度繰上充用金	
(3)基金		流動負債合計	777,948
①特定目的基金	132,976		
②土地開発基金	50,000		
③定額運用基金	1,000		
基金合計	183,976		
(4)退職手当組積立金	176,902		
投資等合計	1,062,255	負債合計	32,561,650
3.流動資産			
(1)現金・預金		[正味資産の部]	
①財政調整基金	956,477	1.国庫支出金	4,880,719
②減債基金	18,824	2.都道府県支出金	1,984,569
③歳計現金	635,449	3.一般財源等	8,770,476
現金・預金計	1,610,750	正味資産合計	15,635,764
(2)未収金		負債・正味資産合計	48,197,414
①地方税	418,501		
②その他	15,782		
未収金計	434,283		
流動資産合計	2,045,033		
資産合計	48,197,414		

※債務負担行為に関する情報

①物件の購入等に係るもの	千円
②債務保証または損失補償に係るもの	219,217千円
③利子補給等に係るもの	千円

グラフ3 性質別歳出の内訳



主な財政指数

経常収支比率	81.3%
実質公債費比率	10.7%
義務的経費比率	43.0%
町債現在高	103億4339万6千円

特別会計の主な事業

国民健康保険	
被保険者数(年間平均)	14,417人
保険給付費	22億3,598万8千円
老人保健拠出金	6億6,642万1千円
1人あたり医療費*	345,506円
老人保健	
受給者数(年間平均)	4,159人
医療給付費	27億3,398万9千円
1人あたり医療費*	717,839円
*1人あたり医療費は、一部負担金を含みます。	

下水道事業	
整備面積	10.5ha
整備延長	1896.4m

農業集落排水事業	
宅内配管工事の普及促進事業	
折原地区基本設計、実施設計事業	

水道事業	
給水世帯	13,646世帯
給水人口	37,598人
給水単価	173円72銭/m ³
給水原価	183円80銭/m ³

特別会計 決算

町の特別会計は5つで、それぞれ9月議会で決算が認定されました。特別会計は、特定の事業を円滑に行うため一般会計から分離し、別に収支経理を行うものです。国民健康保険や老人保健などの社会保障事業をはじめ、快適に暮らせるまちづくりのための下水道事業や農業集落排水事業生活するうえで欠かすことのできない水道事業などの特別会計があります。

会計別決算額

会計名	歳入	歳出
国民健康保険	35億9121万2千円	34億6452万3千円
老人保健	29億4046万1千円	28億2627万円
下水道事業	5億6184万2千円	5億4312万7千円
農業集落排水事業	9987万円	9830万8千円
水道	収益的	8億8047万4千円
	資本的	5234万5千円
		3億5337万5千円

バランスシートの見方

表の左側「借方」は、町の所有するさまざまな形態(土地、現金など)の資産を示しています。一方、右側の「貸方」は負債(借入金、未払金など)と、正味資産(国庫補助金、一般財源等)で、その資産を形成するための資金の調達方法を示しています。

寄居町の資産と負債

平成18年度末の総資産は約482億円で、その内訳は、道路・公園・小中学校などの土地や建物等の「有形固定資産」が約450億9千万円、特定目的基金などの「投資等」が約10億6千万円、現金や預金などの「流動資産」が約20億5千万円となっています。

一方、町債等の「固定負債」が約317億8千万円、町債の翌年度返済予定額等の「流動負債」が約7億8千万円となっています。

正味資産は、企業会計の資本(資本金や剰余金など)にあたるもので、道路や学校などを建設するための国や県からの補助金や町税などの総額で、約156億4千万円となっています。なお、負債と正味資産の割合は、負債が67・6%、正味資産が32・4%となっています。

問い合わせ/財務課(581・2121内線323)へ。